

◎各会場での意見・要望（質疑応答）

※再編問題と直接関係のない意見・要望は除く。

※その場で回答したものについては回答も記載。

中津原小学校（8月27日（木））

- ・再編をするとなった場合の完成年度は？
 - 平成32年4月を開校ということで進めている。
- ・それまで5年もないが、最終決定はいつ頃になるのか？
 - 今後も説明会を開き、審議会で議論し決定していくので、具体的な決定時期は決まっていない。
- ・意見はこの場で言うていいのか？
 - 住民説明会は意見を言うてもらえる場なので、この場で言うてもらいたい。
- ・小中一貫校を想定しているようだが、教員数について、現状と遜色ない状況で保たれるのか、定数の関係で減るのなら町雇用の教員で対応するのかを検討してもらいたい。学校を建ててお金がないので雇えないでは困る。
 - 今のところ、教員数は定数法に基づいた人数で考えている。
- ・近隣の小中一貫校を視察し、実際働いている教員の声を聞いて参考にしてもらいたい。
 - 事務局内部では、2学期に飯塚市や田川市の小中一貫校を視察することを考えている。
- ・通学について、国道が2つあり事故等が想定されるので、安全確保をしっかりと考えてもらいたい。
 - 今後、審議会の中で十分議論・検討していく。
- ・勾金中学校用地に建設する場合、建設期間中の勾金中学校の生徒はどこで授業を受けるのか？
 - 仮校舎を設置することになるが、審議会で協議して決定していく。
- ・総合計画では協働のまちづくりを推進しているが、アンケートは保護者のみで、地域の意見の集約がされていない。行政区単位で説明会を開き、丁寧に説明を行い、地域住民の声を聞くべきではないか。
- ・学校の統廃合は教育の推進のためだと言うが、そこから疑問に思う。4小を1小にして、教員数が約半数に減るのは教育のためによいのかどうか。
- ・なぜ再編の話が出たのかわからない。中津原小学校の児童は現在170人以上いて、平成52年でも100人以上いる。それを無くすという計画ではないのか。
- ・スクールバスを出すと言うが、乗り遅れた子どもは不登校になるのではないか。
- ・ベッドタウンをつくる計画があると何かで読んだが、学校が遠いところに住みたいと思うだろうか。お金のために子どもを犠牲にしているように感じる。
- ・小規模校の良さを生かした工夫をして、もっとやり方があるのではないか。
- ・東京名誉教授の塩川氏が小中一貫校を反対していた。自分も小中一貫には反対である。ぜひ呼んで話を聞かせてほしい。

- ・学力が大切と言うが、食育にも力を入れてほしい。
- ・お金がないから再編をするように思われるが、今まで先生方が学力向上のために努力し、色々やってきてもこの現状なので、ぜひ小中一貫の良い部分を最大限生かしてやってほしい。
- ・中津原小がよければいいという考えではなく、地区を取り払い町全体で盛り上げていけばいいのではないか。
- ・教員定数の問題など、負の部分は最大限抑えられるような形で、全国的にも有名になるようなことをやってほしい。
- ・平成32年開校が決まっているのなら、建設計画等を考えれば逆算して最終決定の時期もわかるはず。子ども達も不安がっているので、出せる部分は提示してもらいたい。
- ・香春町の小学校は少人数で目が行き届いていると思う。もっと情報を集め、意見を聞きながら検討し、5年後ではなくもっと先でもいいのではないか。
- ・現在も3キロの道のりを登下校しており、特に下校時は不安なので、学童のお迎えの6時までには急いで迎えに行っている。登下校時の安全面をどう考えているのか。
- ・跡地利用はどうなっているのか。
- ・説明会での意見を集約し、論議した後、再度説明会を行うということを繰り返して再編を進めていくのかなと理解している。平成32年4月開校が決定であれば、最終決定の時期は決めておいてもらわないといけないのではないか。
→ 平成32年開校はあくまでも目標である。
- ・説明でデメリットがあまり出されていない。住民に意見を尋ねるのであれば、デメリットも提示すべき。
- ・説明会を一通りやっているということで、その返答がないまま再編が進んでいくことが心配。今日来ていない人達の意見をどのように聞くのかも考えながら、今後検討してもらいたい。
→ 審議会において説明会で出た意見についても審議していき、必要な内容については住民説明会を開くので、審議会だけで進めていくことは考えていない。
- ・1度でも事故が起こると、統合しなければ事故にあわなかったのではと思うので、特に登下校の安全面については、十分審議していかないといけないと思う。
- ・新しいハード面で、いい環境で勉強させていきたいとも思うので、気持ちは半分半分。
- ・住民アンケートなり、保護者アンケートを再度とってほしい。
→ 審議会の中で検討していきたい。
- ・手分けして、もっと細かい地域ごとに説明会をする気はないのか。
→ 現在のところ、考えていない。要請があれば検討する。
- ・凍結されてはいるが、設計委託費を予算計上している。住民説明会で出た意見について審議すると言っているが、これからの審議とはどういったことを審議するのか。
- ・保護者アンケートについて、半数近い人が再編は必要と答え、「わからない」と答えた人を半々に分けたとしたら、3分の2の人が必要と考えていることになる。しかし、その他の住民の方の意

見がわからない。合併60年を迎えるが、香春町はまだ1つになっていないと思う。町をあげて学校再編を進めたいという考えは賢明だと思うが、色々な意見が出ているように、住民の意見や希望を十分生かした良い再編をしてほしい。

採銅所小学校（8月28日（金））

- ・今の先生は挨拶もしない人がいるが、学校再編をした時にいい先生がくるのか。どのような学校運営をしていくのかを考えた上で、再編に取り組んでほしい。
 - 先生方の指導力を向上するために、教育委員会としても地域の人や学校と協力して、先生方を育てていきたいと考えている。
- ・廃校となった学校の跡地利用についての考えはあるのか。
 - 今のところ、具体的な構想はない。今後、正式に再編が決まってから検討していく。
- ・学校再編した場合、平成32年4月の教職員数はどうなるのか。
 - 平成26年度末時点で6つの小中学校で87名がいた。統合した場合、仮定ではあるが約49名になる見込みである。
- ・跡地利用については、できれば2～3名の人員配置をして、地域住民に開放してもらい、地域を活性化するモデルケースとなるような跡地利用をしてもらいたい。
- ・学校再編をどうするかということと、地域の活性化をどうするかということが入り混じっている。それぞれを別々に議論して進めていってほしい。
- ・通学時の安全性についてはとても気になるので、地域の人や保護者の意見をきちんと集約し、先進地の事例をしっかりと踏まえた上で検討してほしい。
- ・学力が低いのは、生徒だけでなく教員にも原因があるのではないか。どういう手立てを打つつもりなのか。
 - 昨年からは香春塾や学びの寺子屋という取り組みを行い、一昨年には土曜授業も行っている。また、夏休みの強化学習を全職員で子ども達に取り組み、本を読ませようということで学校図書司書補を各学校に配置している。学校の教員は教員免許を取り、採用試験に通らないと教壇に立てないのだから、良い先生とか悪い先生はいない。先生が代わったら悪くなったということがあれば、学校長を中心として教育委員会としても教員の資質向上に向けての取り組みを強めて生きたい。
- ・審議会には地域の人を入れて審議をしてほしい。
 - 審議会の構成メンバーはPTA代表をはじめ保護者の代表、各小学校区の区長会代表、小中学校長、筑豊教育事務所の先生、福岡県立大学の先生の合計23名となっている。

勾金小学校 (8月31日(月))

- ・学校再編は突然の話のように感じている。子どもの数が減っている現状は、町民も理解していると思うが、再編についてもう一度掘り下げた議論をしてほしい。
- ・教育のマンネリ化は良くないとの教育長の話があったが、再編したらこのマンネリ化は改善されるのか？
 - 現在の6-3制では、学習指導要領を児童生徒が消化するのが厳しい。適正規模適正配置、小中一貫教育、9年間を見据えた義務教育を新しい仕組みで、香春しかできない、特色ある学校をつくっていききたい。
- ・再編のスケジュール、決定事項の住民への周知等、ホームページで周知を行うだけではなく、生の住民の声を聞くためにも、今後も説明会を行っていくべきではないか。
 - 今回の住民説明会でいただいたご意見等については、審議会で報告を行う。また、町広報紙も活用して住民への周知を行っていく。住民説明会については、随時開催し説明を行っていく。
- ・再編は既成の事実で、今後は要望を聞いていくだけになるのか？
 - 住民説明会で反対があれば再編を見直すかとのことだが、教育委員会、推進審議会の中で1小1中にするとの方向で進んでいるので、それに向けてのご意見をいただいているというふうにご確認いただいて構わない。
- ・地域の活性化がまずあって、教育の再編ではないか？ 町長の方針も地域の活性化があり人口の増をあげていた。人口はこれ以上増えないから学校再編をしていこうということなのか？ 地域活性、教育、2つの道がずれているように思える。
- ・呉は小学生が3名しかいない。少人数でもスクールバスは運行するのか？
- ・現在、太陽交通バスに乗って役場まで行き、役場から徒歩で勾金小学校へ登校している。スクールバスは、家から学校まで送り届けてくれるのか？
 - 再編によって、通学距離が遠くなるケースがでてくる。1名でも児童生徒がいれば基本的にはスクールバスで対応する予定。具体的な運行方法については、審議会や専門委員会で協議していきたい。

香春小学校 (9月1日(火))

- ・校舎は新設するということだが、香春小や採銅所小の跡地はどうするのか。
 - 今後、国が示した事例を参考にしながら、住民も含めて協議していく。
- ・財政面も考え、新設ではなく既存の校舎を使ってはどうか。(中高一貫校ができるという話も聞き、中学生の流出も考えられるので。)
 - 決定ではないが、香春小学校については認定こども園として活用する案が出ている。採銅所小学校については分校とし、採銅所保育所と包括して運営する考えもある。香春中学校や勾金小学校については、土地をどのように活用するのかは今後色んな意見を聞いて決めていく。いず

れにしても、行政としては跡地をきちっと活用していかなければいけないと思っているので、青写真ができれば議会や住民に説明していきたい。

- ・舞鶴小学校のように公共施設を併設するなど、小中一貫だけではなく、それ以外の取り組みをしてはどうか。

→ 近くでは颯田小中一貫校は市の図書館と中央公民館が学校の中にある。今後、推進審議会で先進地を視察し、香春町にはどのようなものが向いているのかを審議会や庁内委員会で議論していると思っている。

- ・1小学校に再編するということは、他の3小学校の地域から小学校がなくなるということ。孫が探銅所小学校を卒業し香春中学校に通っているが、1クラスに35人もいて勉強もわからないと言っている。また、今も大きな荷物を持って電車通学をしている子がいるが、5年後はこのような子が増えるのかと思うし、スクールバスもどのへんまで入ってくれるかという所もあるので、せめて4小学校を2小学校にする再編にしてもらいたい。

→ 小規模校には小規模校の良さがあり、一人ひとりに目が行き届く可能性は高いが、子ども達が将来社会に出て次世代を担う時に、自立して生きていけるような教育をしなければいけないと思う。一人ひとりに目標を与え、生き生きと学習に参加できる新しい学校をつくることは大変な事業だと思う。教育の基本は挨拶ができることと、自分の身の回りの掃除をできることだと考えるのでそこを徹底させ、教育の学力は強制と反復がなければ教育はほんとは行われないうと思う。少人数教育等の考えを否定しているわけではなく、それ以上のものをつくり出していくことが再編の大きな目標である。

- ・説明で2～3年前からこの取り組みをしてきたと言っていたが、近所の保護者も再編の話は知らなかった。だから急に執行部が押し付けてきているような気がするし、要望があったから説明会をしているような、付け焼刃のような感じがする。

→ 経過について、再編審議会は平成27年5月に設置し、各小学校区の区長や保護者代表等23名がメンバーとなり審議を行っている。6月にはアンケート調査を各小中学校や保育所等の保護者全員に対して行っており、その中で住民への説明が足りていないという意見が多くあったこともあり、今回小学校区ごとに説明会を行っているところである。今後も引き続き、その都度説明会を行っていく計画としている。

- ・社会的な現状を考えると再編は仕方ないのかと理解できるが、数日前に回覧板でこの説明会があると知り、とまどいビックリした。住民が置き去りにされているような気がする。現在、地区運動会を行っているが、再編後は地域ごとのふれあいがなくなっていくのかと思う。また、勾金中学校の場所として、周辺の交通の安全面はクリアされているのか。執行部や再編審議会で充分検討しているのはわかるが、住民を置き去りにせずに細かく説明をしてほしい。

→ 今からスクールバス等、クリアしなければいけない課題が生じてくると思うので、審議会だけではなく、保護者や地域の方の意見を踏まえるために専門部会の設置も検討している。そういったところで課題を解決していきながら、皆さんと共に新しい学校の建設を行っていきたい。

- ・香春小校区から勾金中学校まで、川や国道を越えて通うのは不安だが、徒歩での通学は体力向上に繋がると思う。立地を考えるとスクールバスは仕方ないと思うが、できれば特別な運動をせずに徒歩通学を含めた通学方法について考慮してほしい。
 - 貴重な意見として、他市町村の例も参考にしながら今後検討していきたい。
- ・メリット・デメリットにあるように、クラス替えができるほうがよいと思うが、少人数のメリットもあって、目が行き届くという部分がある。財政的に厳しいという話だったが、法律で教員の人数が決まっても町の措置で教員を配置し、小規模クラスにしてもらいたい。
 - 現在、県から11名、町から2名の講師を配置しており、定数より13名多い教員が香春町にいる。香春中学校は1クラス34～38名だが、英語・数学・国語の授業は分割授業（半数授業）を行っている。1クラスの人数が多くても、学校や教育委員会のやり方で少人数教育も大人数教育もすることができる。再編してクラス替えができるようになれば、子ども達にとって一番よい学習活動を求め、町民の皆さんが賛同できる教育内容を作っていかなければならないと思っている。
- ・教育のあり方に重点を置いて説明されているように感じる。学校・地域・保護者の関係を大事にしなければいけないと思うが、再編によって地域とのつながりが希薄になる。
- ・再編に関しては決定事項で、再編をするから説明会をしているということか。
 - 香春町教育委員会および町は、これから先の香春町の教育を見据えて1小1中でいこうということで取り組んでいる。したがって1小1中で進めたいということで説明会を行っている。
- ・それは決定ということか。
 - 決定です。1小1中をする中身の問題を皆さんと議論をしている。
- ・6月のアンケートで「再編が必要ですか」と聞いているが、決定しているのなら「必要ですか」という質問は必要ないのではないか。再編するならするで、説明会ではなくて中身についての話し合いなのではないかと思う。

町民センター （9月2日（水））

- ・体力が低下している子ども達をスクールバスで送迎したら、さらに体力が低下するのではないか。
 - 全員をスクールバスで送迎するわけではない。推進審議会の中で、体力を維持する方法についても考えていきたい。
- ・「小中一貫校を視野に」とあるが、最初から小中一貫校にしないのか。また、小中一貫校の先進事例は。
 - 今年、学校教育法が一部改正され義務教育学校が入った。これにより9年間の区切りを地教委が自由に決められるようになった。教育委員会の方向として今度の審議会の中で提案していくつもりである。先進事例としては、近隣では飯塚市の颯田、田川市の猪位金、それから東峰村や福岡市にもある。

- ・スクールバス以外に、自転車通学や公共交通機関での通学とある。現在の学校への通学にも色々
と問題がある中、再編するとさらに遠くなるのだが、通学路の安全確保についての説明が何もな
い。そのへんの話し合いはされているのか。
→ 通学路の安全確保については、町長にお願いして国土交通省やJRとも相談してもらいながら、
審議会の中で充分審議していきたい。
- ・今後、そういったところを詳しく説明してもらいたい。
- ・アンケート調査結果は、今後どのように住民に周知するのか。また、学校再編は町をあげての一大
事だと言われていたが、説明会の参加者が少なく一部の人しか内容を聞いていない。
→ アンケート結果の周知については、今のところ町のホームページで公表しているだけ。今後は
町の広報を活用して周知を行っていきたいと考えている。
- ・それはいつ頃までにするのか。再編の方向が決まった後に出されても遅いと思うが。
→ 町としては再編をするということで説明会を実施している。説明会でいただいた意見について
は、審議会に戻して協議し、協議した内容については広報等で周知していく。
- ・アンケート結果を各家庭に配るということは考えていないのか。
→ 貴重な意見として、今後検討する。
- ・6月のアンケートは保護者のみにしか行ってないようだが、一般住民から無作為抽出してアン
ケートを行う予定はなかったのか。
→ 最初に保護者の意向を踏まえて再編を進めていこうという方針で、保護者のみを対象にアンケ
ートを行った。
- ・一般住民は長い人生経験の中で、1小1中の町の方針には反対意見が出るかもしれないが、その
中で教育の知恵がアドバイスとしてもっと出てきたのではないかと思う。